

アンケート結果図の閲覧及び座談会の結果について

令和2年7月27日から同月31日までの間、JAひまわりグリーンセンター豊川「ワイワイホール」において、多くの農業者の皆様方にご参加いただき、「アンケート結果図の閲覧及び座談会」を開催しました。

会場では、令和2年2月に実施した「アンケート結果図」に基づき、市農業委員会事務局より人・農地プランや農地中間管理事業の説明を行うとともに、地域の現状や課題、将来像について意見を伺い、農地の貸借等マッチングの要望を受け付けました。

当日は、農林水産省による新型コロナウイルス感染症支援事業「高収益作物次期作支援交付金」の受付もあり、多くの農業者の皆様にご参加いただきました。

ここでは、「アンケート結果図の閲覧及び座談会」の概要をお知らせ致します。

□ 開催日時、参加人数、地域の現状や課題等について

地区名	開催日時	参加人数	課題	農地の集約化に関する方針	課題解決のための取組
豊川東部①	7/27 (月)～ 7/31 (金)	3	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 現在は耕作・維持管理ができていた農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営主が離農する際には、地域の中心経営体に引き受けてもらうことで農地の集約化を図っていく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
豊川東部②	午前9時～16時	2	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。

地区名	開催日時	参加人数	課題	農地の集約化に関する方針	課題解決のための取組
豊川東部③	7/27 (月)～ 7/31 (金) 午前9時 ～16時	2	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 現在は耕作・維持管理ができていない農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営主が離農する際には、地域の中心経営体に引き受けてもらうことで農地の集約化を図っていく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
豊川中部①		3	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山林地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
豊川中部②		1	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。
豊川南部		3	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 現在は耕作・維持管理ができていない農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。

地区名	開催日時	参加人数	課題	農地の集約化に関する方針	課題解決のための取組
豊川西部	7/27 (月) ~ 7/31 (金) 午前9時 ~16時	2	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
一宮西部		—	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。
一宮東部		3	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。
一宮南部		—	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山すそ地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。

地区名	開催日時	参加人数	課題	農地の集約化に関する方針	課題解決のための取組
音羽	7/27 (月)～ 7/31 (金) 午前9時 ～16時	一	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山林地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。
御津南部		1	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 現在は耕作・維持管理ができていた農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
御津北部		2	<ul style="list-style-type: none"> 耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 山林地域で有害鳥獣被害が多く、営農意欲の減退が危ぐされる。 	<ul style="list-style-type: none"> 水田利用は、既存のオペレーターを中核として、認定農業者や認定新規就農者が担うことにより対応していく。 地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 鳥獣害対策は地域農業の基盤であり、防護柵の点検・修理、必要に応じ増設を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 ワイヤーメッシュ等の補修、電気柵等の設置の延長を図る。

地区名	開催日時	参加人数	課題	農地の集約化に関する方針	課題解決のための取組
小坂井東	7/27 (月) ~ 7/31 (金)	2	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 ・現在は耕作・維持管理ができていない農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営主が離農する際には、地域の中心経営体に引き受けてもらうことで農地の集約化を図っていく。 ・地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 ・新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。
小坂井西	午前9時 ～16時	1	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作条件の悪い農地は、将来的に耕作放棄地になる可能性が高い。 ・現在は耕作・維持管理ができていない農家が多いが、今後は高齢化や後継者不足により、規模縮小やリタイアする農家が増える恐れがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営主が離農する際には、地域の中心経営体に引き受けてもらうことで農地の集約化を図っていく。 ・地域農業の継続を図るため、新規就農者の確保・育成や各種補助事業を活用して既存農家や集落営農の経営力向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営農地の集約化を進めるため、農地中間管理機構等を活用した貸借をすすめる。 ・新規就農者・親元就農者の確保・育成を図る。